

不祥事根絶に対する取組について

城里町立七会小学校長 小林 英典

本校では、標記について次のとおり定め、その目的を果たすことに努めます。

1 児童に寄り添った支援を行います。体罰はしません。

- ・教育活動全般において「人権教育」「生命の安全教育」の充実に努めます。
- ・児童一人一人の多様性を理解し、指導する際は複数で対応します。

2 交通ルールを遵守します。飲酒運転はしません。

- ・時間に余裕をもって出勤・退勤をします。
- ・酒席に先立ち、交通手段及び帰宅方法の確認を行います。酒席会場には、原則として自家用車では参加しません。運転代行での帰宅予定者については、代行車への乗車を駐車場で確認します。

3 同僚性を高めます。セクハラやパワハラはしません。

- ・ハラスメントは人によって受け止め方が異なることを理解し、思い込みには十分注意します。
- ・経験年数や立場を超えて一緒に作業をするなど、協働を通して「同僚性」を向上させます。

4 適正に学校徴収金を執行します。

- ・予算の執行や会計監査において、複数でチェックします。会計担当も複数で対応します。
- ・通帳、印鑑及び帳簿は、適切に管理します。

5 個人情報を適切に管理します。

- ・授業や学校行事において、児童を個人所有のスマートフォンやカメラで撮影しません。
- ・学校の備品で撮影した画像や動画、文書など、校外に持ち出す場合、管理職の許可を得ます。
- ・データ（または記録媒体）には、パスワードをかけておきます。

【 個人に関すること 】

- 授業や学校行事において、児童を個人所有のスマートフォンやカメラ、ビデオ等で撮影しません。
- スマートフォンやカメラ等を持っているときに盗撮と疑われるような行為をしません。
- 授業中に個人所有のスマートフォンの私的な操作（電話連絡やメール等）をしません。
- 個人所有のスマートフォンを操作して、授業で音源や映像等を使いません。
- 学校の備品を使って撮影した画像や動画、文書など、校外に授業や実習等に関するデータを持ち出す場合には、管理職の許可を得ます。
- データ（または記録媒体）には、パスワードをかけておきます。
- 教職員のふるまいは児童のモデルとなることを自覚し、その言動に十分留意します。

【 校内での日々の取組 】

- 月1回の職員会議や週1回の職員集会において、コンプライアンスに関する事例を取り上げて自分事としての意識付けを図り、法令遵守に基づいた教育活動の展開に努めます。「One IBARAKI」「不祥事防止のためのチェックリスト」等の活用・確認をします。
- 教職員面談の際、「3ない運動+2」を確認し、不祥事行為の撲滅に努めます。
- 全ての教育活動は、児童のためであることを教職員全員が理解し、常に児童のモデルとなることや言動に留意することを意識します。

【 保護者・地域を交えた取組 】

- 学校と保護者・地域の方々が一体となり、児童の健やかな成長を願い、環境整備等を進めて学校行事及びPTAや地域の行事を充実させます。